

授業科目	* 英語学概論 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN21205J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	<p>「英語学概論」とは「英語学」についての「概論」という意味である。「概論」とは「入門」と同じ意味、つまり「英語学入門」の授業である。講義形式で行う。</p> <p>基本的には後期の「英語学概論 II」(選択)と併せた、言語学の講義である。この授業はその前半となるが、「英語史」や「英語教育史」など英語特有の分野を含めて講義する。その後、音声学・音韻論、形態論、統語論などを学んで行く。</p> <p>評価は、毎時間のリアクションペーパーと、学期末のレポートで行う。</p> <p>感染対策の意味も含め、座席は指定する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>毎回の授業に遅刻欠席なく出席し、集中して講義を聴くことができる。</p> <p>講義内容を自分の言葉でノートに残すことができる。</p> <p>毎回の授業で、質量ともに十分なリアクションペーパーを提出することができる。</p> <p>授業内容を十分理解した上で、質量ともに十分なレポートを提出することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			25		15		40	
知識・理解 (DP1-2)		0	5		5		10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			15		20	0	35	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10		5		15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
英語の歴史、音声学と音韻論、形態論について自分の言葉で、他者に概要が説明できるレベル。				英語の歴史、音声学と音韻論、形態論について基礎的知識を身に付けているレベル。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	言語学、英語学とは。			授業方針の説明、講義		指定された教科書を購入して持参すること。		

	英語学とは英語の語学訓練とは全く異なり、英語の言語的特徴について理解を深める言語学の一分野であることを理解する。			
2	英語の歴史 ユトランド半島から大ブリテン島へ移住したアングロ人・サクソン人・ジュート人の歴史について。	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
3	英語の歴史 古英語、中英語、近代英語、現代英語について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
4	英語の歴史 古英語、中英語、近代英語、現代英語について 「主の祈り」を通じた考察	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
5	英語の歴史 ノルマンコンクエスト、聖書の英語訳について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
6	英語の歴史 大航海時代、2つの世界大戦などを通じ、現在の地位を占める至る歴史を概観	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
7	日本における英学と英語教育の歴史 英学が始まったきっかけ、明治／大正／昭和／平成の英語教育	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
8	音声学・音韻論 人間が声を発生するしくみ(肺、声門、口腔、鼻腔、舌、唇の動きや形)	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
9	音声学・音韻論 英語の音韻について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
10	音声学・音韻論 日本語の音韻について、音声学と音韻論の違いについて	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
11	形態論 単語を定義することの難しさについて	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
12	形態論 意味を持つ最小単位である形態素の特徴について	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
13	形態論 様々な単語の生成パターンについて	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
14	形態論から統語論へ 英語学概論Ⅱについて 授業アンケート	講義	指定された教科書の章や、資料を事前に読んでおくこと。	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>中学・高校までに習った英語や単語、特に英文法についてのしっかりとした理解。 言葉や表現に対する興味関心。 「学問」に対する興味・理解力。</p>			
テキスト	<p>はじめての英語学 研究社 ISBN 978-4-327-40165-8</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能： ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる! ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>この授業は英語運用能力(スキル)を直接的に高める授業ではない。 「言語学」や「英語学」の面白さを感じるには、一定レベルの英語力が身につけていることが前提になるため、「入門」レベルの内容であっても、難しいと感じるかもしれない。しかし「英語学」は英語に対する教養を深める、英語学科生にとって必須分野であるので、頑張ってください。 知的興味を持って！英会話学校や専門学校とは違う、学問の世界へ！</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>授業中は集中してノートを取り、そのノートを振り返りながら、毎時間、質の高いアクションペーパーを提出するように努めて欲しい。 遅刻・欠席をするとアクションペーパーの質が下がったり、提出回数が減るので、評価が下がる。 遅刻2回で欠席1回とする。</p>			

